

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	本人と共に過ごし支え合う関係において「家族的」「馴染みの関係」という名のもとに、利用者との距離が近づきすぎるきらいがあり、例えば処遇困難者に対して、「家族」以上の適切な対応ができていないのか疑問が生じつつある。	「家族にはできない介護、自分たちにしかできない介護。」とは何かを、職員各自が見つけることができる。	対象の理解については、カンファレンスやミーティングを通じて共有すると共に、職員の自己洞察の適切な方策を確立し、発展させることができる。	12ヶ月
2	21	本人を共に支え合う家族との関係づくりにおいて、家族間の交流が不足している。	運営推進会議の場から、家族間の交流の場を広げていくことができる。	できるだけたくさんの家族に参加してもらえるよう、楽しくリラックスできる企画を伴った推進会議を開催する。かつ、その場を、ピアカウンセリングの場に発展させるようスーパーバイズを行う。	12ヶ月
3	2	地域との付き合いの幅が、十分に広がっているとは言えない。	近隣地域の自治区会や、町内会を再点検し、接触の機会を得られるようになる。	自治区会の活動情報の収集を行い、かつ認知症理解のための出張講演などを提案する。また、地域の派出所に出向き、施設の安全確保への協力要請と共に、地域の高齢者の暮らしの状況などの情報収集を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。